

# EPAハノイ便り

9月号

平成28年9月30日

ARCベトナム校発行

## ・EPAボランティア活動

ベトナム中部高原地帯に位置するコントウム省はベトナムで最も開発が遅れている地域の一つです。中でも生活が困難な地域であるコンブロン郡の10の村で9月11日から17日まで、ファミリーメディカル・ハノイという病院が村民の方々に、健康診断、予防接種、医療相談などの支援活動を行いました。



荷物を運び込む新聞部員

この活動に呼応して、EPAベトナム第4陣の候補者、先生方、スタッフはボランティア活動としていろいろなものを寄付することになりました。

8月26日、

新聞部リーダーであるフォンさんがクラスノの代表者を集め、物品の寄付を呼びか

けました。候補者たちは9月初旬の連休で実家に帰るので、その際に寄付できる物を持ってきて欲しいという内容です。全候補者が実家から本、衣服、おもちゃ、文具など使わない物を研修所に持ってきてくれました。9月5日の朝、新聞部員たちは物品を整理、仕分けをしました。全部で段ボール箱が16箱もありました。そのほとんどは衣服でした。他には、本や人形、ペンなどもありました。9月5日の午後、ボランティア団体の方に、集めた物品を渡し、



病院の方との記念写真

そして記念写真を撮りました。

贈り物をもらった人の喜ぶ顔を想像したら私たちもうれしくなりました。全員が積極的にこの活動に参加しました。この活動を通して、世の中の多くの人より私たちのほうが幸せだということがわかりました。12月の試験まで、もっと日本語の勉強をがんばらなければならぬと強く実感しました。

(14組 ハイソ、ロアン、チュン、チャンチャン、マイ)

## ・日本の歌

EPA研修では、1週間に1回、社会文化の授業があります。日本へ行って仕事が出来ようように、そして、より早く日本の習慣に慣れるように、日本の社会や文化について授業は行われています。候補者たちは3グループに分かれて授業を受けます。1グループは60〜70人ぐらいです。

この授業では、毎回、授業の最初に日本の歌を習います。「春の小川」上を向いて歩こう」「見上げてごらん夜の星を」など今までたくさんの歌を覚えました。

これらの歌は、昔日本で流行った歌や子どもからお年寄りまで知っている歌です。私たちはこれらの歌を熱心に練習し、歌いました。練習の前には、先生が歌詞をご説明になり、また歌詞に関係した写真なども見せてくださいます。

この歌の授業で私たちはいろいろなことを勉強しました。歌詞を通じてたくさん言葉や日本人の生活、文化も知りました。また歌うことは日本語の発音の練習にもなります。そして、日本の歌が歌え

るようになりまし。この授業のおかげでストレスも解消できます。

私たちは来年、日本で働くことになりまし。最初は仕事に慣れなくて大変なことがたくさんあるでしょう。でも、



歌の練習にいそむ候補者

そんなとき利用者さんと一緒に歌を歌うことで、うまく関係が作れることでしょう。歌の授業は大好きです。  
(14組 フォン、フエン・チャン、チン、ハー、トゥ)

## ・ 中秋の節句

中秋の節句(以下中秋節)はベトナムの伝統行事です。中秋節は毎年、旧暦の8月15日に行われます。昔は、この日に子どもにプレゼントを贈ることが行われました。中秋節の日は、大きくて丸い月が出ると言われていま。ベトナムではこの日は至るところで、大人が子どもにプレゼントを贈りほめる姿を目にしま。子どもたちは歌を歌ったり、踊りを踊ったりしま。

時代とともに、中秋節は子どもだけではなく、大

人も興味を抱くようになりまし。現在は、大人も子どもも、この日を楽しみにしていま。私たちは候補者は寮で生活してて故郷に帰れないので、この日に寮で中秋節のパーティーを行いました。みんなでお菓子を食べたり、話をしたり歌を歌ったりしました。

このパーティーでこれからの勉強のことを話しました。新しいクラスのこと、最後の学期の計画を

みんなでダンスを踊りました



立てることなどを話しました。これをきっかけにして候補者同士の連帯感を強めることができたと思いま。この話し合いで今まで勉強した日本語を生かすことができました。本当に楽しかったです。

試験まであと2カ月です。最後の学期を悔いなく勉強に集中していきたいと思いま。

(14組 リー、ビン、チャン、ヌー 10組ゴック)

\*\*\*\*\*

今月号の記事はいかがでしたでしょうか。記事にもありますが、この9月にクラス替えがありました。新聞部員も16人に増え、記事も盛りだくさんになりました。いよいよ日本語能力試験が近づいてきていま。候補者たちに最後の奮起を期待して。

(た)



新しい新聞部員たち